

ASD の 2 例の右室負荷患者でも明瞭に描出された。これらの症例でも TI による同様の右室描出が確認された。右室への集積を左室集積に対する比として求めると、上記 3 例の右室負荷群では  $0.89 \pm 0.15$ 、正常者 3 例の群では  $0.19 \pm 0.03$  となり、TI の集積比  $0.92 \pm 0.23$  および  $0.14 \pm 0.03$  とほぼ同等であった。以上の結果より、右室心筋も脂肪酸をエネルギー源として利用しており、負荷がかかると血流量の増加に伴って利用量が増加すると考えられた。

## 5. $^{123}\text{I}$ -MIBG 心筋シンチにて完全欠損像を呈した高齢発症の不整脈源性右室異形成症 (ARVD) の一例

笠井 督雄 山科 章

(聖路加国際病院・内)

立ちくらみを主訴とする 82 歳男性。10 年前より頻脈性不整脈を指摘。転倒のため当院受診。心電図で 1 度房室ブロック、心室内伝導障害、QT 延長および、I, aVL, V<sub>4</sub>～V<sub>6</sub> で Q 波を認めた。心プールシンチでは右室、右房の著明な拡張と両心室の壁運動障害を認めた。CK 167 と軽度増加し、 $^{201}\text{TI}$  心筋シンチでは側壁の欠損像を認め、心筋梗塞が疑われたが、冠動脈は正常で、右室の広範な壁運動異常と左室の軽度壁運動障害を認めた。20 分間持続する心室頻拍を生じ、右室心筋生検にて ARVD と診断した。 $^{123}\text{I}$ -MIBG 心筋シンチでは完全欠損像を認め、MRI で右室自由壁に bulging と脂肪浸潤を認めた。左室病変を有する ARVD の診断に、 $^{123}\text{I}$ -MIBG 心筋シンチが有用と思われたので報告した。

## 6. $^{123}\text{I}$ -MIBG 心筋シンチグラフィの定量解析法とその相関

小泉 潔 アリ・サイアッド・アルバブ  
内山 晓 新井 誉夫 (山梨医大・放)

$^{123}\text{I}$ -MIBG 心筋シンチに際し得られる各種指標、特に早期 30 分の指標を中心に相互の相関および各種疾患の分別度を検討した。

1 秒毎 120 枚と 6 秒毎 300 枚の合計 32 分間の dynamic data より注射後 3-4 分間 (HU3) あるいは 30-31 分間 (HU30) の累積放射能の投与量に対する割合、およびその間の washout rate (early WR, EWR) を算出した。それらと、一般に算出されている early uptake (EU)、お

よび delayed uptake (DU)、さらに、通常の washout rate (delayed WR, DWR) とを比較した。

HU3 は HU30 と良好な相関を示したが、EU, DU の順に相関は落ちた。EWR と DWR との間に有意な相関が見られたが、前者はより高値であった。EWR は HU3, EU、および DU との間でゆるい逆相関が見られたが、DWR と HU3 との相関性は低く、この組み合わせで疾患を特徴づける可能性が示唆された。すなわち、心筋症では HU3 と DWR の高値、血液透析患者では HU3 は高値だが DWR は低値であった。

## 7. バセドウ病の $^{131}\text{I}$ 治療における TSH 受容体抗体の測定意義

佐藤 優美 日下部きよ子 牧 正子  
百瀬 満 小林 秀樹 (東京女子医大・放)

TSH リセプター抗体の活性はバセドウ病の病態に密接に関与するといわれている。今回われわれはバセドウ病の  $^{131}\text{I}$  治療前後の TSH リセプター抗体の値と治療効果との関係を解析し、予後推定における TSH リセプター抗体の測定意義について検討した。

1987 年 4 月より 1992 年 12 月までに  $^{131}\text{I}$  治療を受け、治療前後に TSH リセプター抗体を測定し、1 年以上経過観察されているバセドウ病の 44 例を対象とした。TRAb は RRA 法にて  $^{131}\text{I}$  治療前および原則として治療後 1, 3, 6, 12 か月目に測定した。治療効果の判定は、甲状腺機能亢進群、正常群、低下群に分け、そのグループ別に治療前および 3, 6, 12 か月目の TRAb 値の推移をみた。

その結果、治療前の TRAb 値は正常機能群で他群よりもやや低く、3, 6 か月目の TRAb 値の変化率は治療前の 3-4 倍に上昇する特徴的なパターンを示した。他の群では TRAb 値の変化率に大きな変動は見られなかった。以上より TRAb 値の測定は予後の推定に有用性が高いことが示唆された。

## 8. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MIBI による甲状腺シンチグラフィの経験

小須田 茂 新井 真二 森 憲一  
片山 通章 渡嶋 浩樹 草野 正一  
(防衛医大・放)

各種甲状腺疾患患者 13 例に  $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MIBI による甲状